



農林大学校の動き(H31年2月)

2019. 3. 6

島根県立農林大学校 (担当:教育部 松本)

TEL:0854-85-7011 FAX:0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します。



○果樹地域農業実習で「島根ふるさとフェア 2019」(広島市)を視察(1/19)

島根県内市町村にどのような特産品があるのか、そのPR方法や販売戦略を学び、6次産業化への理解を深めることを目的に実施。農業科1・2年生希望者と職員で参加。プロジェクト課題の一環として、地元企業とコラボし商品開発を行い、企画・製造から販売まで授業で取り組む高等学校が出店しており、農林大の今後の取組の参考にしていきたい。



○林業就業相談会(森林の仕事エリアガイダンス)に参加(2/1)

(公社)島根県林業公社(島根県林業労働力確保支援センター)が主催の就職相談会に、林業科1年生9名が参加。県内の認定事業者15社(H29は12社)の担当者から、事業内容や採用条件等の説明を受けた。6月頃までには具体的な就職希望先を選定しなければならない学生には、非常に参考になるタイムリーな説明会になった。



○平成30年度島根県農林改良青年会議連絡協議会冬季大会に参加(2/4)

自営就農を目指す学生(7名)が本大会に初めて参加。プロジェクト発表3課題について、グループに分かれて意見交換を行った。同時に学生のプロジェクト1課題も発表した。



○農業機械メンテナンス実践研修でメンテナンス技術を習得(2/6・7)

卒業予定の2年生17名がトラクター、管理機、刈り払い機、運搬車、動ふん、エンジン関係などについて、実践的なメンテナンス技術を学び、就農後のトラブルに対応できるよう修理技術を身につけた。



○平成30年度けん引自動車運転免許(農耕用限定)特別試験を受験(2/4、5、12)

けん引自動車運転免許(農耕用限定)特別試験が島根県運転免許センターで行われ、本校学生14名が受験。13名が合格した。

○江の川下流域の事業者を視察、先輩(卒業生)から在校生にアドバイス(11/28・2/15)

江の川下流域の林業事業者への就職促進のため、流域内の5つの林業事業者(森林組合3・民間事業者2)を訪問。現地では農林大卒業生から林業科1年生に対して、就職するうえでの心構えや今後の学生生活で重要視したいことについてアドバイスをもらい、一同感心。

○水稻実践講習会を開催(2/20・21)

今春から雇用就農や関連企業で水稻栽培に携わる学生を対象に、講習会を開催。5名が自主的に参加し、講義による水稻の実践的知識を学んだ。2日にわたる講習会で今まで水稻についてほとんど学んでいなかった学生も基礎的な知識・技術を身につけた。

2月号(その2)

○基礎的税務・確定申告実践研修会でしっかり学ぶ(2/14)

農業次世代人材投資事業や緑の青年給付金を受給している学生 30 名が、石見大田税務署の指導により、税金の必要性、所得税の仕組み、所得税の計算方法や確定申告書の書き方を学んだ。実際に確定申告が必要な学生が主体のため、記入方法等熱心に質問していた。



○就職セミナーで就職活動のポイントを学ぶ(2/15)

農業科の 1 年生 23 名が、ハローワークの指導により就職活動の注意点、ハローワークの利用方法、履歴書の書き方や自分をアピールするポイントなどについて学習した。また、2 年生 2 名による就職活動の体験談から、筆記試験や面接、インターンシップ等へのアドバイスをもらった。



○全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会に参加(2/14~16: 東京都)

国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、全国の農業大学校等の学生及び指導職員約 300 名が参加し開催。本校からは、農業科・林業科の 1 年生 4 名が参加し、プロジェクト学習等の日頃の学習活動の成果を交換・交流し、研鑽を重ねた。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。